



有限会社帆高建材工業 本社事務所

- 本社所在地：
静岡県静岡市駿河区広野 2 2 8 4 - 4
- 事業概要：土質改良の製造・販売／土木工事／残土処分・運搬／各種碎石山土販売／重機・解体工事／産業廃棄物収集運搬
- 常時使用する従業員：4 0 名
(グループ全体・2026年3月時点)
- 現在の売上高：1 0 . 1 億円
(グループ全体・2025年8月期)
- 法人番号：8080002012763
- Web：https://hodakakenzai.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
帆高 宏史

建設廃棄物の「処分」をゼロにし、高度な資源化技術を通じて持続可能な地域社会を構築する

当社は創業以来、「残土の『処分』をなくし、土を宝に変える」という使命感のもと、静岡のインフラ基盤を支えてまいりました。既存の事業モデルだけでは成長の踊り場にあり、真に地域社会へインパクトを与える存在になるためには、非連続な成長が必要です。ここで、私は「売上高 1 0 0 億円」という野心的な目標を宣言します。これは単なる規模の追求ではありません。最新のICT建機導入によるDX化と、独自の「建設汚泥資源化技術」を強みに、建設業界の負の遺産を100%資源へと再生する「環境インフラ企業」へと進化するための決意です。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・2 0 3 1年に売上高 1 0 0 億円を達成する。
- ・建設汚泥中間処理事業の本格稼働（2 0 2 6年度）を皮切りに、県内全域および近隣県への拠点展開を加速させ、受入シェアを飛躍的に高める。

課題

- ・高含水な建設汚泥を効率的に製品化するための、掘り起こし・粒度調整工程の自動化と品質の均一化が急務である。
- ・熟練オペレータの技術に依存しない、ICTを活用した高効率な生産プロセスの確立が必要。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・最新ICT建機含む設備増強：掘削作業の半自動化による工期短縮と人員削減を図る。同時に、建設汚泥を市場価値の高い高品質な再生資材へと1 0 0 %製品化する体制を構築する。
- ・ダブル収益モデルの確立：汚泥の中間処理手数料と、製造した高品質改良土の販売益を垂直統合し、高収益体質へと転換を図る。
- ・NETIS登録技術の活用：自社保有のASE工法等の高度な土壌環境保全技術を強みに、大規模な環境浄化案件の受注を拡大する。

実施体制

- 社内推進体制（役割分担の明確化）
 - ・統括責任者（代表取締役）：経営戦略の最終意思決定および、売上拡大に向けた多拠点展開やM&A等の総指揮を執る。
 - ・DX・ICT推進リーダー：最新ICT建機の運用管理。現場の可視化と生産性向上を直接管理する。
- 外部リソースの活用（伴走支援体制）
 - ・技術パートナーシップ：機械設備メーカー等と連携し、ICT建機の最新ソフトウェアアップデートやリモートメンテナンスを受け、常に最先端の施工環境を維持する。

売上高100億円実現の目標とグループ体制

【実現目標】



【グループ体制】

有限会社帆高建材工業

残土／土木工事／

産業廃棄物処理事業

交通施設株式会社

交通安全施設事業